

平成6年度 保存処理業務報告

森 恭 一

平成6年度の資料課保存処理業務を報告します。
今年度は、大刀など点数の割に労力のかかるものが多かったため、各方面に御迷惑をおかけしました。特に四街道分室の伊藤分室長には多くの御助力をいただきました。また、保存科学室の補助員の皆さんにもお礼申し上げます。

I 保存処理受託事業

木更津市、柏市、四街道市、袖ヶ浦市、海上町、和洋学園、(財)君津郡市文化財センター、(財)印旛郡市文化財センター、(財)香取郡市文化財センターの委託を受け、金属製品の保存修復を行った。(表1)

また、昭和62年に設定された保存処理受託単価表を、物価、人件費等の上昇により改定した。

II 出土資料の保存処理

当文化財センターの調査により出土した遺物のうち、中越の小銅鐸をはじめ、妙経、池向、胡摩手台の金属製品の保存修復を行った。

三重山遺跡の木炭は、保存修復を行った。城山、西野、下ノ坊、その他の木製品については、PEG処理を開始した。(表2)

III 技術支援

X線透過写真撮影、赤外線テレビカメラ撮影、顕微鏡写真撮影、遺物の取り上げ、遺物の仮保管や強化処置に必要な薬品・器材・方法の紹介など、発掘担当者の調査や整理作業を技術的に支援した。

保存修復技術の普及のため、月に1回、B5の用紙1枚程度のプリントの連載を11月から開始した。これは、保存修復、保管などの技術や機器材のなかから、発掘担当者に役立つような情報を中

心に、できるだけ簡単な内容で紹介するものである。(表3)

また、合成樹脂による土器の修復を、実際に合成樹脂を使って紹介した。

IV 保存処理業務の今後

平成7年度は、「保存処理受託事業」と「出土資料の保存処理」の処理量のバランス、保存修復技術や支援機器材の普及分野を平成6年度に引続き改善、強化して行きたいと考えている。

(表1) 保存処理受託事業リスト

* 木更津市	
鉄板、小刀など	計9点
* 柏市	
鉄剣、鋤先など	計10点
* 和洋学園	
鎌、刀子など	計52点
* 四街道市	
鉄斧、鎌など	計13点
* 海上町	
大刀、鉄鏃など	計48点
* 袖ヶ浦市	
大刀、耳飾など	計37点
* 財団法人 君津郡市文化財センター	
大刀(鏝に象嵌)、鉄剣など	計64点
* 財団法人 印旛郡市文化財センター	
鎌、鉄鏃など	計33点
* 財団法人 香取郡市文化財センター	
鋤先、鎌など	計35点
	合計301点

(表2) 出土資料の保存処理リスト

金属製品	
* 妙経 (房総導水路)	
刀子、鎌など	計123点
* 池向 (佐倉第三)	
直刀、小刀など	計22点
* 中越 (東関道千葉富津線)	
小銅鐸	計1点
* 胡摩手台16号墳	
鞍金具	計1点
	合計147点

木製品

* 三重山	
木炭	計1点
* 城山	
板材など	計44点
* 西野	
板材など	計17点
* 下ノ坊	
鉢など	計25点
* その他	
水車、木片など	計58点
	合計145点

(表3)

「X線のはなし その1」	(H6,11)
内容 X線とX線装置の仕組	
「X線のはなし その2」	(H6,12)
内容 X線透過撮影の仕組と利用	
「接合のはなし その1」	(H7,1)
内容 接合の仕組	
「接合のはなし その2」	(H7,2)
内容 遺物接合の実際	
「接合のはなし その3」	(H7,3)
内容 土製品の接合	